

## 中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況の概要

## 1. 総合戦略の進捗状況について

進捗区分	H28 時点	H29 時点	H30 時点
実施済み・実施中	133	135	143
実施に向け準備中	11	6	6
未実施	13	6	5
一部見直し	5	15	2
計	162	162	156

◆H29.11改訂による施策数  
変更の内訳

<162 施策→156 施策>

・改訂による施策数の変更

【商工】5 施策→3 施策

【観光】6 施策→4 施策

・施策の廃止

【林業】1 施策

(流通・販売分野の人材活用)

【建築】1 施策

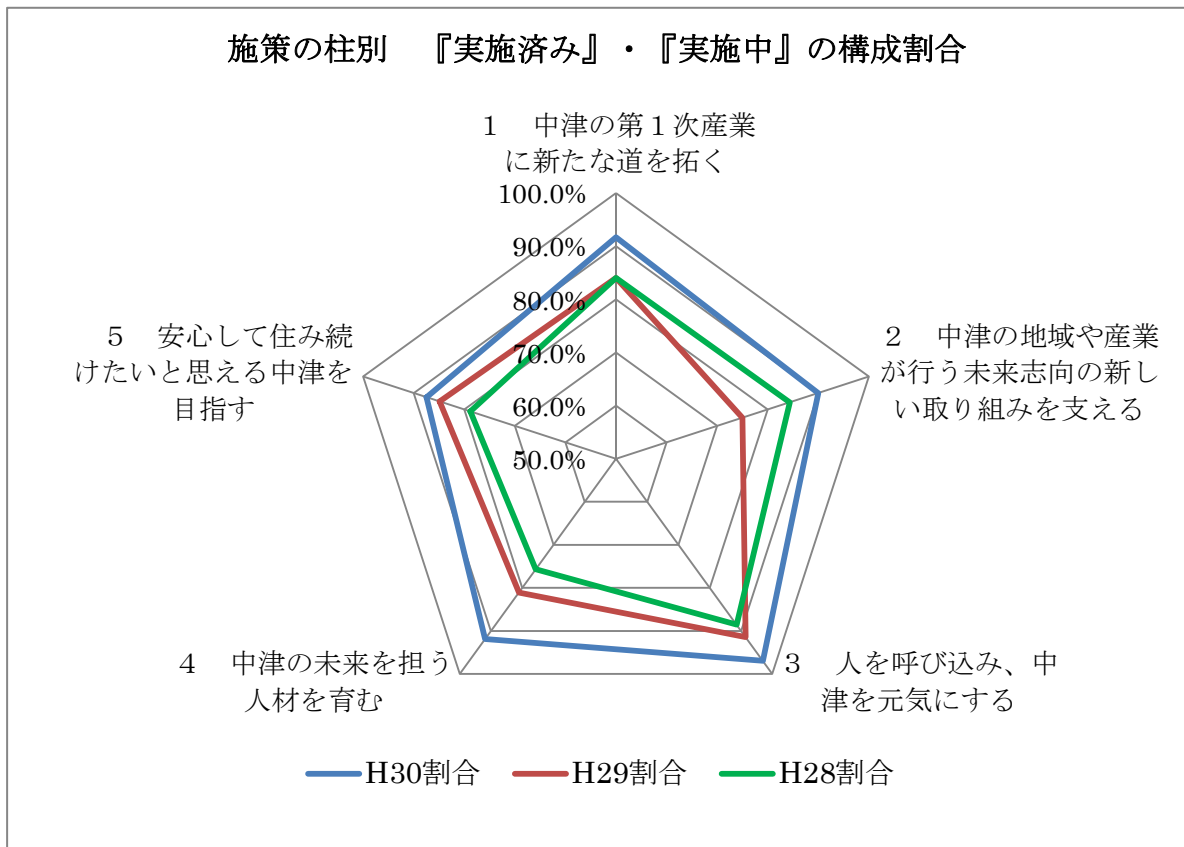
(今津校区での市営住宅建築)

## 【未実施の施策について（下表参照）】

No.	施策名	理由
1	【起業・創業】クラウドファンディングを活用した起業・創業等に対する補助	H28.4 よりクラウドファンディング補助金交付要綱を施行。H28.9 にファンド運営事業者によるセミナーを開催。参加者6名県との連携事業として創設したが、2年間で利用者不在（H29年度は大分県全体でも利用者0名）のため、H30.3をもって補助金要綱を廃案した。
2	【子育て】下毛地域での保育所型認定こども園の実施	地域の社会福祉法人に実施を依頼したが実現していない。
3	【子育て】ファミリーサポートセンター事業での病児預かり	H28年10月に話し合いを実施。講習内容の不足やニーズから、現時点では実施しないことに決定。今後医療機関での実施について検討。
4	【社会福祉】障がい者等の就労を支援するカウンセラーの配置	適格者の募集を行ったが、採用には至らず未実施となっている。今後、カウンセラーの配置は見送り、ハローワークや障害者就業・生活支援センター等との連携強化により同程度のサービスを提供し、障がい者の就労支援に取り組む。
5	【環境】犯罪の起きにくい環境づくりとしての高架橋アートの検討	J R 中津駅を通じて申し入れをしているが、高架橋を管理する J R 側の理解が得られず、事業の見直しを検討。

【一部見直しの施策について（下表参照）】

No.	施策名	見直しの内容・理由
1	【中心市街地】旧城下町エリアの景観誘導	都市計画の用途地域の見直し（H31）に併せて、景観誘導を行うエリアの設定を検討する。
2	【中心市街地】旧町名の復活	住所表記を行う方法以外に、町名を後世へと伝承する手段について検討中。



2. KPI 達成状況について

1. 中津の第1次産業に新たな道を拓く

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	平成 29 年度実績	評価
第1次産業新規従事者	5年間で70人	(3年間で) 63人	◎
農業生産法人における収益	平成26年比 10%増 (H26年 2,273.7万円)	76.6%増	達成
資源管理型漁業者の平均所得	平成26年比 10%増	50.9%増	達成
カキ生産量	年間100万個	26.5万個	△
畜産農家の平均所得	平成26年比 5%増	5%増	達成
中津市産木材出荷量	平成26年比 30%増	5.8%減	×

	(H26年 36,239 m <sup>3</sup> )		
--	-------------------------------	--	--

## 2. 中津の地域や産業が行う未来志向の新しい取り組みを支える

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	平成 29 年度実績	評価
創業・誘致等企業数	5年間で78社	(3年間で) 72社	◎
創業・誘致等による雇用者	5年間で342人増	(3年間で) 250人増	◎

## 3. 人を呼び込み、中津を元気にする

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	平成 29 年度実績	評価
観光入込客数	年間540万人	年間438万人	×
空き家バンク利用移住者数	5年間で120人	(3年間で) 61人	○

## 4. 中津の未来を担う人材を育む

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	平成 29 年度実績	評価
中学3年までに英検3級を取得する生徒の数	500人	161人	○
若者の地元定着率	5%増 (H26年 59.4%)	0.5%減 (58.9%)	×
合計特殊出生率	1.85	1.94	達成
就学前子育て世帯の子育て支援サービス認知度	100% (H25年度 48.6%)	54.6%	△

## 5. 安心して住み続けたいと思える中津を目指す

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	平成 29 年度実績	評価
小規模集落住民満足度	100%	調査中	—
山国地域拠点施設年間利用者	延べ37,000人	延べ34,272人	○
山国地域介護認定開始平均年齢	85歳	83.8歳	△
生活排水処理率	74.8%	73.2%	◎
防災士養成数	5年間通算120人	(3年間通算) 112人	◎
自主防災組織率	100%	93.68%	◎

【評価】◎：順調に推移、○：概ね順調に推移、△：横ばい、×：減少

### 3. 交付金の効果検証について

#### ◆子育て2.0のまちプロジェクト

本事業における重要業績評価指標（KPI）		指標値	実績値
指標①	合計特殊出生率	1.96	1.94
指標②	子育て世帯における母親の就労割合	68.0%	71.7%

#### 【交付金対象事業】

##### ・長期休業中児童クラブ運営事業

事業の概要	保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもたちに適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る児童クラブを長期休業期間限定で実施する。
事業の目的	長期休業期間だけ預けたい保護者の児童を市が受け入れることで、既存の放課後児童クラブにその分の余裕が生まれる。したがって、既存の放課後児童クラブに預けたい保護者の児童が入りやすい環境になり、保護者の就労状況を子育てを理由に変更することもなく、待機児童の解消へと繋がる。
事業の効果	<p>《非常に効果的であった》</p> <p>当事業の目的に沿って、既存の放課後児童クラブの待機児童の解消に繋がった。</p> <p>また、平成29年度延べ利用者数は230名であり、保護者ニーズへのきめ細かな対応を行うことができた。</p>
今後の方針	<p>《継続》</p> <p>既存の放課後児童クラブの待機児童解消、保護者の就労状況に合わせた利用など当事業のもたらす効果は大きい。</p> <p>また、保護者ニーズへのきめ細かな対応のうえ事業を継続することにより、子育て不安解消による出生率の増加、子育て環境改善による就職率の増加が期待できるため。</p>

##### ・こどもいきいきプレイルーム整備事業

事業の概要	親子が集える場づくりとして、既存商業施設などの空きスペースを活用した屋内施設を設置・運営。
事業の目的	親子が集える屋内施設を設置・運営するとともに、この施設内に子育てに関する情報提供や悩み相談、就労相談などに対応する機能を付加することにより、子育て世帯の暮らしの質の向上、子育て世帯の働く希望の実現を図る。
事業の効果	<p>《非常に効果的であった》</p> <p>平成29年12月サンリブ3Fに、なかつ・こどもいきいきプレイルームを開設。年間利用人数（見込み）42,000人のところ、29年度は94日開設で、25,777人の利用となった。</p> <p>屋内広場の充実など、子どもを産み、育てやすい環境に近づくことができた。</p>

今後の方針	<p>《継続》</p> <p>子どもを産み、育てやすい環境を作り、合計特殊出生率の向上や市の目指す将来都市像『暮らし満足No.1のまち「中津」』の実現が期待されるため。</p>
-------	--

◆おんせん県おおいた県域版 DMO を核とした観光振興事業  
(※県との連携事業)

本事業における重要業績評価指標 (KPI)		指標値	実績値
指標①	(※参考) 市内年間観光入込客数	540 万人/年	438 万人/年

※県との連携事業のため、交付金実施計画では、『県内観光入込客数 (千人)』などが指標となっている。

【交付金対象事業】

- ・メイプル耶馬サイクリングロードの活用
- ・訪日外国人受入態勢整備と誘客促進

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間連携や地域独自の誘致活動 (台湾台中市と中津市との観光友好協定締結や、ラグビーワールドカップおよび東京五輪の事前合宿誘致活動等) による外国人誘客の促進と受入環境整備。</li> <li>・県内サイクリングコースのひとつである市内の自転車専用道路「メイプル耶馬サイクリングロード」を活用したサイクルツーリズムの推進。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の受入環境整備と宣伝体制の強化による観光客の増加を図る。</li> <li>・サイクリングロードの魅力向上により継続的な観光誘客につなげる。</li> </ul>
事業の効果	<p>《効果があった》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標①の達成率は約 80%であるが、レンタサイクル利用者は平成 27 年度比で約 10%増加している。</li> <li>・大河ドラマ放映終了に伴う観光入込客数の減少の影響で、宿泊客の減少が懸念されたが、増加傾向にある。</li> </ul>
今後の方針	<p>《継続》</p> <p>受入環境整備、地域ブランディングや独自の誘致活動を通して継続的な観光誘客を目指す。</p>

#### 4. 本文の改訂について

施策名	輸出も含めた収益力ある木材出荷ルートの構築 (P. 7)
見直す内容	<p>1. 中津の第1次産業に新たな道を拓く (3) 1次製品の価値を高める販売の工夫</p> <p style="text-align: center;"><b>施策内容</b></p> <p><b>③輸出も含めた収益力ある木材出荷ルートの構築</b></p> <p>林業において循環型森林整備の推進とあわせて必要となるのが安定した出荷先の確保や木材消費の拡大といった販売面の取り組みです。このため、<b>森林組合・民間事業者との連携体制により</b>、木材の需給動向の観測、需要に的確に対応するための情報収集・分析を行うことで、協定取引や中津港活用による海外も視野に入れた出荷ルートの開拓・販路拡大といった林業収入の増加を目指した取り組みを進めます。(以下略)</p>
理由	林業施策の関連法案成立により、従前課題とされてきた諸課題に対する「研究会組織」での取り組みを、「森林組合・民間事業者との連携体制」での取り組みに改める。

施策名	体験・学習・スポーツ観光プログラムの形成推進 (P. 17)
見直す内容	<p>3. 人を呼び込み、中津を元気にする (1) 観光客の増加と収入増への取り組み推進</p> <p style="text-align: center;"><b>施策内容</b></p> <p><b>⑦体験・学習・スポーツ観光プログラムの形成推進</b></p> <p>(一部抜粋)</p> <p>このため、市内の多様な産業や観光協会等の関係機関と連携し、体験型観光の需要把握を行い、その結果を基に観光プログラムを形成し、滞在時間の長い体験型観光を推進します。また、スポーツ観光についても観光プログラム形成やイベント実施による誘客を図るとともに、地域エリアや競技の特色を活かした大会や合宿の招致、<b>東京2020オリンピック・パラリンピック</b>の事前キャンプ誘致などにも力を入れていきます。</p>
理由	2019 ラグビーワールドカップ日本大会の事前キャンプ地へ立候補していたが、平成30年4月20日に組織委員会より「公認チームキャンプ地」への内定自治体が公表され、中津市は落選となったため。

施策名	現行の小児救急体制の維持を前提に子ども医療費助成の検討（P. 21）
見直す内容	<p>4. 中津の未来を担う人材を育む （2）子育て環境の充実</p> <p style="text-align: center;"><b>施策内容</b></p> <p><b>⑥子ども医療費助成拡大に伴う小児救急体制の維持及び予防医療の推進</b></p> <p>子ども医療費助成の拡大に関する要望があり、全国的に拡大している自治体も増えていますが、中津市では小児救急センターにおける365日の小児救急体制を維持することが、子どもを育てる上で一番の環境だと考えています。24万人医療圏の中核病院である中津市民病院を有する中津市の小児救急体制が崩壊することがないように、制度内容や正しい病院のかかり方などを周知・啓発していくとともに、子どもが健やかに育ち、健康維持することが重要と捉え、予防医療の推進を行います。</p>
理由	子ども医療費助成対象拡大して小中学生の通院助成を追加する方針が固まったため。